

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	体育（理論）	
科目基礎情報							
科目番号	0031			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子機械工学科			対象学年	2		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	現代高等保健体育：和唐正勝ほか（大修館書店）						
担当教員	富永 亮						
到達目標							
1.現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について関心を持ち、意欲的に学習に取り組むことができるようになる。 2.現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表すことができるようになる。 3.現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解できるようになる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、関心を持ち、意欲的に学習に取り組むことができる（関心・意欲・態度）		関心・意欲を持って学習活動に主体的に取り組める		関心・意欲を持って学習活動に自主的に取り組める		関心・意欲を持って学習活動に自主的に取り組めない	
現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表すことができる（思考・判断）		課題解決のために総合的に考え、判断し、十分表現できる		課題解決のために総合的に考え、判断し、概ね表現できる		課題解決のために総合的に考え、判断し、表現できない	
現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解できる（知識・理解）		課題解決に役立つ基礎事項を十分理解できる		課題解決に役立つ基礎事項を概ね理解できる		課題解決に役立つ基礎事項を理解できない	
学科の到達目標項目との関係							
教養 D2							
教育方法等							
概要	健康を保持増進するための科学的知識の習得と、それを実生活における判断と行動に適用する能力・態度の発達を目標とする。						
授業の進め方・方法	視覚教材を生かした講義を行い、科学的知識の習得を目指す。また、それを実生活における判断と行動に適用する能力・態度を発達させるため、演習とグループ学習を中心としたアクティブ・ラーニングを取り入れる。						
注意点	小テストおよび期末試験（知識・理解、思考・判断）を70%、課題および授業態度（関心・意欲・態度）を30%として期末試験時に総合的に評価する。また、次のような授業態度（遅刻、熱心に取り組まない、指示に従わない、ルールを守らない、他人に迷惑を掛ける、集団行動を乱す等）があった場合は、その程度によって減点する。なお、授業計画の内容および順序は変更となることがある。						
実務経験のある教員による授業科目							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンスおよびオリンピックの歴史		授業の目標、計画、評価を理解できる		
		2週	パラスポーツの体験		パラリンピックのスポーツを理解し、実際に実施できる		
		3週	スポーツと経済・ドーピング		スポーツと経済・ドーピングについて理解することができる		
		4週	小テスト1		1～3週で学んだ内容について理解できる		
		5週	小テストの解説および動きのメカニズム		動きのメカニズムについて理解できる		
		6週	動きのメカニズムのつづき		動きのメカニズムについて理解できる		
		7週	体力測定と身体計測		体力測定と身体計測の方法を理解し、実際に実施できる		
		8週	体カトレーニング		体カトレーニングについて理解できる		
	4thQ	9週	小テスト2		5～8週で学んだ内容について理解できる		
		10週	小テストの解説および日常的な応急手当		日常的な応急手当について理解できる		
		11週	日常的な応急手当のつづき		日常的な応急手当について理解できる		
		12週	運動やスポーツでの安全の確保		運動やスポーツでの安全の確保について理解できる		
		13週	テーピング		テーピングの方法を理解し、実際に実施できる		
		14週	救命級講習		心肺蘇生法やAEDの方法を理解し、実際に実施できる		
		15週	救命救急講習のつづき		心肺蘇生法やAEDの方法を理解し、実際に実施できる		
		16週	期末試験		すべての週で学んだ内容について理解できる		
評価割合							
	試験	小テスト	レポート	成果物・実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	30	0	30	0	0	100
知識の基本的な理解	40	30	0	5	0	0	75

思考・推論・創造への適応力	0	0	0	10	0	0	10
態度・志向性 (人間力)	0	0	0	5	0	0	5
主体的・継続的な学習意欲	0	0	0	5	0	0	5
汎用的技能	0	0	0	5	0	0	5